

開催案内

マンスリーセミナー

455 回	4/13 (火)	赤外光硬化性樹脂を用いた 光デバイス自動接続の研究開発	宇都宮大学 大学院 工学研究科 先端光工学専攻 教授 杉原 興浩 氏
<p>(内容) データ伝送の増大に伴い、光通信、光インターコネクションの分野が高性能化している。これらの分野においては、光デバイス間を簡便低損失に接続する実装技術が必要となっている。例えば光源とファイバやシリコン導波路とファイバとの接続を自動的に接続できれば、この分野の発展に大きく貢献できる。本セミナーでは、自己形成光導波路接続技術に着目し、これらの光デバイス間の自動接続に必要な赤外光硬化性樹脂の開発と、光通信デバイス、シリコンフォトニクスデバイスの接続の事例について紹介し、将来展望について議論する。</p>			
456 回	5/18 (火)	第一原理計算による無機材料特性の 系統的予測とデータ駆動型新材料探索	東京工業大学 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所 教授 大場 史康 氏
<p>(内容) 理論計算により高精度かつ系統的な基礎物性および欠陥特性の予測ができれば、材料設計に関する有益な知見が得られるだけでなく、材料探索の加速につながる可能性がある。我々は第一原理計算による無機材料の基礎物性・欠陥特性の高精度・高速予測のための手法開発を進め、新材料の開拓に向けた系統的なデータ生成並びに <i>in silico</i> (計算機中) スクリーニングへと展開している。本講演では、その手法を概説するとともに、酸化物・窒化物のドーピングの設計や材料探索への応用例を紹介する。</p>			
457 回	6/15 (火)	フォトニクスポリマーが支える 5G,8K時代の超高速プラスチック 光ファイバーと高精細ディスプレイ	慶應義塾大学 慶應フォトニクス・リサーチ・インスティテュート 所長 小池 康博 氏
<p>(内容) 近年のクラウドを介した IoT 技術の急速な変革は、より安定した高速信号を遅延なく伝送する超高速光伝送技術の開発、臨場感ある高精細リアルカラーディスプレイの開発を加速している。我々はフォトニクスポリマーを基盤として、高速な光信号を安定して末端までリアルタイムで伝送できる、超高速プラスチック光ファイバーによる“光の毛細管”を提案している。また、複屈折がゼロとなるゼロ複屈折ポリマー、あるいは逆に複屈折が極端に大きな超複屈折フィルムを用いて色劣化を防ぐ原理を提案し、それらのポリマーは世界のメジャーな液晶テレビ等に広く採用されている。本講演ではこれらフォトニクスポリマーの最前線を紹介する。</p>			

最新情報は光産業技術振興協会のマンスリーセミナーのページをご覧ください。

会場：光産業技術振興協会（有楽町線 江戸川橋駅）
東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル 7 階
時間：午後 3 時 30 分～5 時 30 分
定員：90 名（申込先着順）
<http://www.oitda.or.jp/main/monthly-j.html>

参加料：協会賛助会員：1,500 円（1 回につき・消費税込）
一般参加：3,000 円（1 回につき・消費税込）
大学・公的機関：無料（学生・院生含む）
支払方法：銀行振込
申込先：光産業技術振興協会 開発部 村谷
TEL：(03)5225-6431 E-mail：mly@oitda.or.jp